

令和3年度立川市国民健康保険 保健事業実績

区分	事業概要	令和3年度の取り組み	令和2年度実績	令和3年度実績
特定健診事業	40歳から74歳の被保険者を対象とし、特定健康診査を実施する。	未受診者の受診勧奨の取り組みとして、レセプトデータの分析により、前年度に生活習慣病で医療機関に受診があるが、過去3年間健診を受診していない方に勧奨はがきの送付と電話による受診勧奨を実施した。	特定健診受診者数 9,339人 特定健診受診率 34.2% 40歳以上75歳未満被保険者数 27,271人	特定健診受診者数 9,380人 特定健診受診率 34.7% 40歳以上75歳未満被保険者数 27,022人
特定保健指導事業	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。	対象者に対し利用券および募集資料を送付し、申し込みのあった方に対し特定保健指導を実施した。 令和3年度から利用券の送付対象に健診結果の受診勧奨判定値に該当する者も加えた。	特定保健指導実施人数 116名 特定保健指導実施率 9.3 %	特定保健指導実施人数 173名 特定保健指導実施率 15.3 %
糖尿病性腎症重症化予防事業	レセプトデータの分析結果等から対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。また、薬局プランでは、かかりつけ薬局で年6回程度の面談を行う。	看護師による指導プログラムを実施したほか、かかりつけ薬局の薬剤師による指導プログラムを実施した。	新規指導実施者数 11名 内訳:(看護師プラン 5名 薬局プラン 6名) 継続指導実施者数 22名 指導実施者の人工透析移行者数 0名	新規指導実施者数 11名 内訳:(看護師プラン 3名 薬局プラン 8名) 継続指導実施者数 25名 指導実施者の人工透析移行者数 0名
ジェネリック医薬品差額通知事業	レセプトデータから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。	対象者に対し、7月、10月、2月の年3回差額通知を送付した。	ジェネリック医薬品利用率(数量ベース) 82.3 %	ジェネリック医薬品利用率(数量ベース) 81.7%
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。	特定健診の検査結果が一定の値を超えており、直近1年間で医療機関への受診歴がない方に対し受診勧奨通知を送付した。	受診勧奨通知送付件数 88件 通知送付後に医療機関の受診が確認できた人数 14名	受診勧奨通知送付件数 95件 通知送付後に医療機関の受診が確認できた人数 15名
受診行動適正化事業(重複・頻回受診、重複服薬)	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者や重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。	重複受診(同一疾患で複数の医療機関を受診)、頻回受診(1カ月に1つの医療機関に8回以上受診している方)や重複服薬(同系医薬品の処方がある月に複数ある方)等が疑われる方に対し、通知を送付し希望者に訪問指導を実施した。	案内通知の送付件数 53件 訪問指導の実施件数 20名 重複受診 1名 頻回受診 19名 重複服薬 4名 訪問指導の実施の結果、行動変容が見られた人数 18名	案内通知の送付件数 62件 訪問指導の実施件数 11名 重複受診 0名 頻回受診 11名 重複服薬 0名 訪問指導の実施の結果、行動変容が見られた人数 9名